

## 9 階西病棟（眼科・糖尿病内分泌内科・呼吸器内科）

### 1. 病棟の概要

9 階西病棟は、病棟再編成に伴い平成 20 年度より眼科、糖尿病内分泌内科、呼吸器内科の混合病棟として稼働している。眼科の手術を受けられる急性期の患者様と、生活習慣病である慢性期疾患の糖尿病の患者様、呼吸器疾患で長期の療養生活をされている患者様と多様の病態の患者様がおられる。病床数 48 床を 2 チームに分けて固定チームナーシング継続受け持ち看護方式を取り入れ、看護の提供を行っている。糖尿病療養指導士が 3 名所属しており、院内で活躍している糖尿病認定看護師を中心に糖尿病に集団教育で活躍している。

### 2. 看護活動内容

3 つの各診療科ごとに 3 グループにわけ、それぞれの科の専門性を高め、よりよい看護の提供ができるようグループ活動に力を入れている。

眼科では、医療チームとしての連携をはかるために、月 1 回医師と外来・病棟看護師、検査技師、外来事務とで合同カンファレンスを実施している。各職種間で情報を共有することで、通院から入院またその逆で退院し外来通院する場合の連携を強化している。また、意見交換する場となり業務改善にもつながっている。

看護師のグループでは、眼科手術後のうつ伏せ位での専用マットを新しく改善し、手術後の苦痛が少しでも軽減されるよう取り組みを行った。

糖尿病内分泌内科では、H20 年度より糖尿病教育入院患者様をまとめて集団教育を実施している。今までの院内で行っていた水曜日の糖尿病教室とは別に、月・火・木・金の 13:00~14:00 に 9 階西病棟で行われ、教育内容がスケジュール化している。指導担当者は看護師だけでなく栄養士、薬剤師、理学療法士のコメディカルの糖尿病チームで行っている。看護師も糖尿病グループのメンバーが、統一して集団教育の講師を実施できるように研修で学び、勉強会を実施し指導体制を確立している。また、糖尿病患者には欠かせないフットケアも病棟で実施できるよう手技を学んでいる。

呼吸器内科では、入院を繰り返す患者様が多く、長期にわたり療養生活を過ごされ、退院時には何らかの支援を要する方がおられる。転院や在宅支援の調整が必要な患者様には地域医療課との連携を行い、患者様やご家族が安心して退院できるよう支援している。今年度は、酸素療法の勉強会や、癌性疼痛の勉強会やケースカンファレンスも行われ、具体的な学びにつながり、直接的な看護ケアへの活用を今後期待している。

その他、9西病棟では「フィッシュ哲学」の一環として、入院患者様にも季節感を感じて頂く為に、デイルームを季節に合わせて飾り付けを行っている。  
たまに病室から車いすでデイルームに出てこられる患者様も、見てくつろいでいただけるようスタッフにも力が入り、楽しんで取り組んでいる。



集団教育の場面



フットケアの場面



フィッシュ活動

### 3. 今後の課題

眼科では、点眼パンフレットの作成。うつ伏せマットの評価。

内分泌内科では、各スタッフ個人の指導スキルの向上、フットケア技術の習得。

呼吸器内科では、呼吸療法認定士の資格取得を目指す。